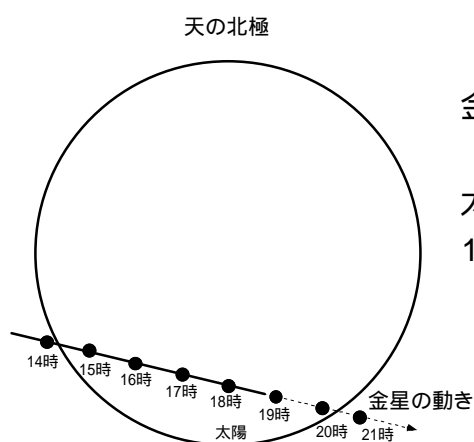


2004年6月8日 金星日面通過

観察のてびき



金星が太陽の前を通過する現象が起きます。

太陽の表面に黒い点として現れるのが、14時11分ころ。

18時54分ころには太陽と一緒に地平線に沈んでしまいます。

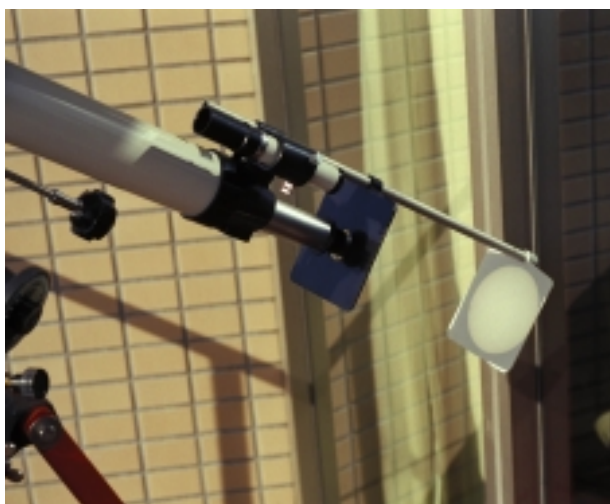
一番のポイントは、『目を守ること』

太陽は強い熱や光を出している天体です。うっかりすると、大切な目を痛めてしまいます。

十分注意を払い、各自の責任で観察を行ってください。

天体望遠鏡は太陽投影板をつけて！

太陽を望遠鏡でのぞいてはいけません(カメラや双眼鏡なども同じです)。失明する危険があります。望遠鏡で観察する場合は、太陽投影板という部品を取り付けます。目で直接のぞくのではなく、スクリーンに映った太陽を観察する方法です。安全で、しかも大勢でいっしょに見られるところが便利。しくみはかんたんですので、ありあわせの材料で作っても良いでしょう。



望遠鏡に取り付けた太陽投影板



望遠鏡一台でもみんなで楽しめます！

ビデオカメラやデジタルカメラを使う

ビデオカメラ、デジタルカメラでも写せる可能性があります。レンズの前に、NDフィルター（写真用の黒いフィルター。カメラ屋さんで売っている）をつけてください。十分濃い色の物を使うこと。

金星を少しでも大きく写せるように、テレコンバーター等の補助レンズをつけるとよいでしょう。

露出（シャッタースピード）とピントの調節が重要。本番前に練習しておきましょう。

光学式ファインダーのついている機種は、目を痛める危険があるので、安全対策をしない限り使用を避けましょう。



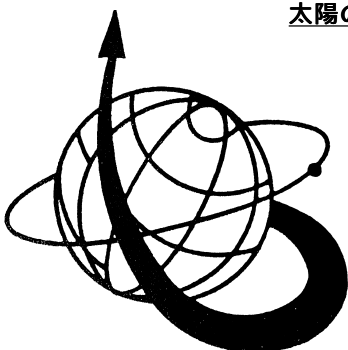
ビデオカメラにとりつけたテレコンバーターにNDフィルターをはりつけたところ

肉眼での観察は専用のフィルターで！

金星は小さいので、肉眼で見ることは難しいかもしれません。それでも、挑戦してみたい！という方は、目を痛めないように特別な工夫をした上で観察する必要があります。望遠鏡や肉眼で直接ながめるのはもちろん、黒い下敷きや、サングラスなどは、たとえ太陽がほどよい明るさに見えたとしても、目を痛めるので絶対に使ってはいけません。失明の恐れがあります。

太陽観察用に作られたフィルター（^{しゃこうばん}遮光板などの名前で売っている）を使う方法があります。この場合も観察は短時間にとどめた方が安全です。

太陽の観察は危険を伴います。安全に注意し、各自の責任で行ってください。



厚木市子ども科学館

〒243-0018 厚木市中町1-1-3厚木シティプラザ7階

046(221)4152

インターネットホームページ

<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/acsc/index.html>